

こっこめ通信 09 2011

「どうでしょうか？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年の夏休みは、例年に比べて家族連れや大人数のグループでの来館が多く、ビジターセンターはとても賑わっています。そして、6月17日より公園内で行われている「光るきのご観察会」の参加者は8月20日に3600人に達しました。9月30日まで開催していますので、まだの方はぜひお越しください。

さて、今回は「子供クラフト教室」「ハエトリってカワイイ」についてのお話です。

子供クラフト教室

夏休みに開催している「子供クラフト教室」は、小学生対象で、毎年たくさんの子供たちが参加してくれます。宿題の自由工作として提出できる工作なのも魅力の1つなのではないでしょうか？今年も14日と21日に開催しました。



14日に開催したのは「竹ビーズでクワガタを作ろう」です。八丈島に自生する、ハチジョウスズタケを小さく裁断してビーズ状にし、被覆銅線を使って編み込みます。出来上がりはハチジョウノコギリクワガタ！

去年は、すべて同じ長さの竹でした。しかし、今年は少しバージョンアップして、脚やアゴに少し長めの竹を使用しました。作り始めのアゴの部分は慣れないため、保護者の手伝う姿が目立ちましたが、コツをつかむと一人で作る子供が多かったです。クワガタが出来上がった人は、別に用意したリクガメにも挑戦していました。リクガメまでできなかった人には、家で挑戦できるように材料を持ち帰っていただきました。



21日に開催したのは「海辺のフォトフレームを作ろう」です。今回は海辺に拾いに行くことができないので、スタッフが事前に拾ってきたものを利用しました。

流木や貝殻、ビーチグラスなどの漂着物や砂などをホットボンドでのり付きパネルやコルクボードに貼り付けます。ホットボンドは熱くなるので、低学年の子供たちの作業は保護者の方に手伝ってもらいました。流木をアクセントにして、それぞれに個性のあるフォトフレームを作り上げていました。中には、たくさん付けすぎて、写真がはみ出してしまうものも。1つでは不足ずもう1つ作る子供たちもいました。最後にお気に入りの写真をフォトフレームに貼り付け満面の笑顔でした。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

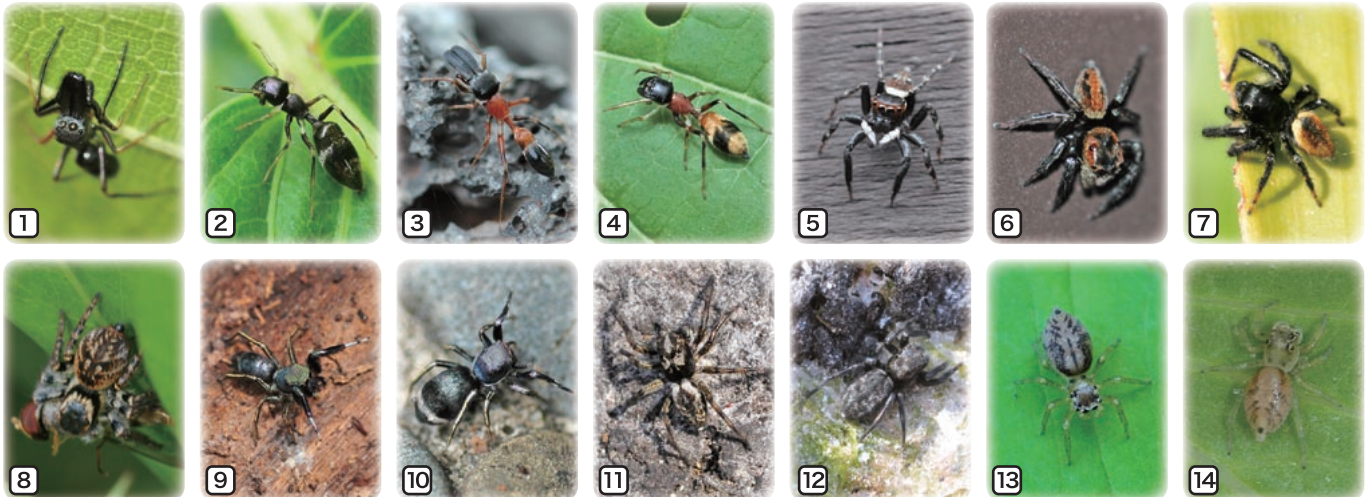
ハエトリってカワイイ

「クモは嫌い」という方が多いですね。でも、ハエトリグモの仲間はどうか？

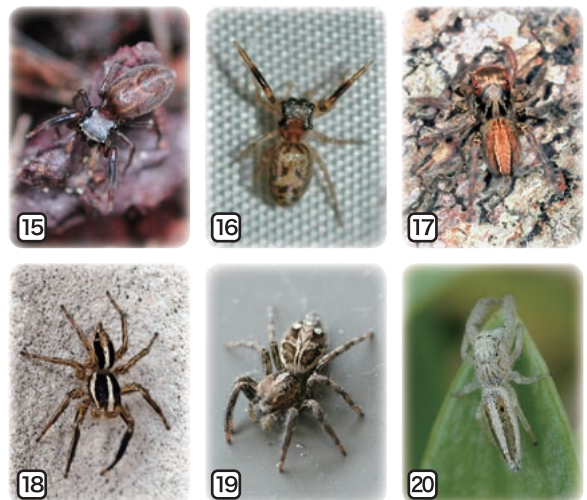
小さな体で、ピョンピョンと跳びはねることから「jumping spiders」とも呼ばれています。また、8つある眼の前2つ（前中眼）が大きな鼻の様にも見えます。屋内でも見られ、パソコンの画面にあるポインターを獲物と間違えて追ってきたりもすることもあります。関東地方の一部ではネコハエトリのオスを戦わせる“ホンチ”という遊びもあるそうです。ハエトリグモの仲間には、アリを専門に捕まえるアオオビハエトリがいたり、アリにそっくりなアリグモの仲間がいたり、オスとメスで全く違う模様の種類も多いです。

ハエトリグモ科のクモは、日本に92種が生息し（日本産クモ類より：小野展嗣著）、そのうち八丈島では19種の記録があります。今回はとってもカワイイ、ハエトリグモの仲間を八丈島で捜してみました。

みなさんの身近にもたくさんいるクモなので怖がらずにじっくり観察してみてください。



アリグモ	① ②	<i>Myrmarachne japonica</i> (Karsch 1879)
ヤガタアリグモ	③ ④	<i>Myrmarachne elongata</i> Szombathy 1915
アダソンハエトリ	⑤ ⑥	<i>Hasarius adansoni</i> (Audouin 1826)
ネコハエトリ	⑦ ⑧	<i>Carrhotus xanthogramma</i> (Latreille 1819)
アオオビハエトリ	⑨ ⑩	<i>Siler cupreus</i> Simon 1888
イソハエトリ	⑪ ⑫	<i>Hakka himeshimensis</i> (Dönitz & Strand 1906)
ウカバネコハエトリ		<i>Phintella castriesiana</i> (Grube 1881)
マガネアサヒハエトリ	⑬ ⑭	<i>Phintella arenicolor</i> (Grube 1861)
マツモトハエトリ	⑮ ⑯	<i>Bristowia heterospinosa</i> Reimoser 1934
デーニッツハエトリ	⑰	<i>Plexippoides doenitzi</i> (Karsch 1879)
チャスジハエトリ	⑱ ⑲	<i>Plexippus paykulli</i> (Audouin 1826)
ミスジハエトリ	⑳ ㉑	<i>Plexippus setipes</i> Karsch 1879
マミジロハエトリ	㉒ ㉓	<i>Evarcha albaria</i> (L. Koch 1878)
マミクロハエトリ	㉔ ㉕	<i>Evarcha fasciata</i> Seo 1992
シラヒゲハエトリ	㉖ ㉗	<i>Menemerus fulvus</i> (L. Koch 1878)
ヨダンハエトリ	㉘ ㉙	<i>Marpissa pulla</i> (Karsch 1879)
ヤハズハエトリ	㉚	<i>Mendoza elongata</i> (Karsch 1879)
カラスハエトリ	㉛ ㉜	<i>Rhene atrata</i> (Karsch 1881)
ネオンハエトリ？	㉝ ㉞	<i>Neon reticulatus</i> (Blackwall 1853)



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は8月14日に行いました。次回は9月11日になります。

八丈植物公園季節調査（平成23年第8回）参加者：黒田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）
草本			31	ホソバツルメヒシバ	実	シダ植物	
1	アオツツラフジ	花	32	ミツバ	実	1	イノデ
2	アオノクマタケラン	若い実	33	メヒシバ	実	2	オオイタチシダ
3	アシタバ	花と実	34	ヤブガラシ	花	3	オオタニワタリ
4	アメリカスズメノヒエ	花と実	35	ヤブマオ	花	4	オクマワラビ
5	イガガヤツリ	花	36	ヤマカモジグサ	実	5	カニクサ
6	イワニガナ	花				6	タチシノブ
7	ウスベニニガナ	花と実				7	タマシダ
8	ウリクサ	花	木本			8	ノキシノブ
9	オオアレチノギク	花	1	アカメガシワ	熟した実	9	ハチジョウカナワラビ
10	オニタビラコ	花と実	2	イヌザンショウ	花	10	ハチジョウベニシダ
11	オヒシバ	花と実	3	イヌビワ	実	11	ヒトツバ
12	カタバミ	花と実	4	エノキ	熟した実	12	ホシダ
13	カヤツリグサ	実	5	オオバヤシャブシ	実	13	ホラシノブ
14	キツネノマゴ	花	6	オオムラサキシキブ	若い実	14	マツバラソ
15	クルマバザクロソウ	花と実	7	ガクアジサイ	花と実	15	マメツタ
16	コゴメガヤツリ	実	8	カラスザンショウ	花	16	ミゾシダ
17	コニシキソウ	花と実	9	シマクサギ	咲き始め	17	ヤマイタチシダ
18	コマツヨイグサ	花と実	10	センダン	若い実	18	ワラビ
19	コミカンソウ	花と実	11	タイミンタチバナ	実	今回はシダ植物18種を含む76種の植物を観察しました。暑い日でしたが、樹木の実が目立ち始め、ツクツクボウシが鳴いて季節が移る予兆が感じられました。	
20	ザクロソウ	花と実	12	テイカカズラ	実		
21	シマスズメノヒエ	花と実	13	トベラ	実		
22	セイヨウタンポポ	花	14	ハゼノキ	実		
23	タチスズメノヒエ	花と実	15	ハチジョウキブシ	実		
24	トウバナ	実	16	ヒサカキ	実		
25	トキワハゼ	花	17	ヒメユズリハ	実		
26	ハキダメギク	花	18	ホウライカズラ	蕾		
27	ヒナギキョウ	花と実	19	ホルトノキ	咲き終わり		
28	ヒメクグ	実	20	マンリョウ	若い実		
29	ヒメジョオン	花	21	ヤブツバキ	実		
30	ヒメヨツバムグラ	花	22	ヤブニッケイ	若い実		

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「アマミサソリモドキ」にスポットを当ててみたいと思います。



アマミサソリモドキ *Typopeltis stimpsonii*

サソリモドキ目サソリモドキ科。奄美諸島～熊本県天草牛深にかけて分布していることから、島へは園芸植物に混じって入ってきたと思われます。

ムチサソリとも呼ばれ、サソリに近い仲間ですが、毒はありません。しかし、危険が迫ると肛門線から強い酢酸臭のガスを噴霧し、液が皮膚の柔らかい場所に着くと炎症を起こすこともあります。

左の画像は、メスが生まれた子供を背負っています。

2011 八丈ビジターセンター 9 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は 特別行事があります		1 07 : 05 00 : 42 19 : 00 12 : 58	2 07 : 57 01 : 23 19 : 27 13 : 31	3 ガイドウォーク 08 : 57 02 : 09 19 : 54 14 : 03
4 ガイドウォーク 10 : 16 03 : 04 20 : 25 14 : 35	 5 12 : 24 04 : 15 21 : 06 15 : 17	6 14 : 44 05 : 51 22 : 49 18 : 00	7 07 : 27 20 : 31 15 : 26	白露 8 01 : 14 08 : 34 15 : 53 21 : 18	9 02 : 31 09 : 21 16 : 16 21 : 50	10 ガイドウォーク 03 : 23 09 : 58 16 : 38 22 : 18
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04 : 04 10 : 31 16 : 58 22 : 45	 12 04 : 41 11 : 00 17 : 19 23 : 12	13 05 : 17 11 : 28 17 : 39 23 : 39	14 05 : 51 11 : 54 17 : 59	15 06 : 26 00 : 08 18 : 20 12 : 20	16 07 : 01 00 : 38 18 : 41 12 : 45	17 ガイドウォーク 07 : 38 01 : 10 19 : 02 13 : 08
18 ガイドウォーク 08 : 19 01 : 45 19 : 23 13 : 31	19 ガイドウォーク 09 : 10 02 : 26 19 : 45 13 : 56	 20 10 : 31 03 : 19 20 : 13 14 : 26	21 13 : 03 04 : 37 21 : 07 15 : 52	22 14 : 30 06 : 14 19 : 46	秋分 23 ガイドウォーク 00 : 12 07 : 37 15 : 04 20 : 42	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「護神山公園季節調査会」 01 : 52 08 : 36 15 : 32 21 : 18
25 ガイドウォーク 02 : 55 09 : 24 15 : 59 21 : 52	26 03 : 48 10 : 07 16 : 27 22 : 26	27 04 : 38 10 : 46 16 : 54 23 : 02	28 05 : 26 11 : 23 17 : 21 23 : 40	29 06 : 15 11 : 59 17 : 49	30 07 : 05 00 : 19 18 : 17 12 : 34	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
9 / 11（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「護神山公園季節調査会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、大賀郷にある護神山公園に行き、植物などの季節調査をします。
9 / 24（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2011.9.1 第124号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

ハエトリグモは眼が発達しているので、カメラを向けるところを見ます。その顔がまた何ともいえず可愛いです。大きな眼は鼻にも見えますが、車のヘッドライトの样にも見えます。ハエトリグモに出会ったらじっくり見て下さい。(高)